

後援会だより きりゅう

櫻 隆

平成31年3月6日
 発行 福島県農業総合センター
 農業短期大学校後援会
 発行責任者 会長 根本 百喜
 西白河郡矢吹町一本木446-1



卒業によせて



福島県知事
内堀 雅雄

卒業生の皆さん、御卒業おめでと
 うございます。

皆さんは、本校において、仲間と
 ともに農業の幅広い知識と優れた実
 践力、さらには、豊かな創造力を身
 に付けられ、本日、晴れて卒業の日
 を迎えられたことを大変嬉しく思っ
 ます。

また、これまで皆さんの成長を温
 かく見守り、支えてこられました御
 家族の皆様のお慶びはひとしおのこ
 とと拝察し、心からお祝いを申し上
 げます。

さて、東日本大震災及び原発事故
 から約八年が経過いたしました。原
 子力災害による風評が今なお残る二方
 で、避難指示が解除された地域におい
 て、農業法人による先進的な大規模
 経営の展開が進むなど、復興に向け
 た歩みは着実に進展しております。

さらに、地理的表示、いわゆるG
 I制度において、南郷トマトが県内

で初めて登録されたほか、新規就農
 者数が四年連続で二百人を超え、本
 校で皆さんが取り組んだ認証GAP
 取得件数も百件を超えるなど、本県
 農業の新たなステージに向けた希望
 の光が一層強まりをみせており、皆
 さんの先輩方が次世代を切り開く大
 きな力となって県内各地で活躍され
 ています。

皆さんが学んだ農業は、県民の生
 命を支える食料の生産・供給はもと
 より、農村を始めとする地域社会の
 維持や自然環境の保全など、豊かな
 国民生活に不可欠な役割を担ってお
 ります。

これから社会人としての第一歩を
 踏み出す皆さんには、これから待ち
 受ける様々な困難に臆することなく、
 本校の卒業生としての誇りと自信を
 持ち、これまで培った知識や技術を
 生かして、未来の自分、そして未来
 のふるさと福島を思い描きながら御
 活躍されることを大いに期待してお
 ります。

結びに、卒業生の皆さんの輝かし
 い前途を心から祝福いたしますとと
 もに、関係の皆様のお健勝と御多幸
 をお祈り申し上げます、贈る言葉
 といたします。

卒業を迎えて



後援会長
根本 百喜

卒業を迎えられた皆様、ご卒業誠に
おめでとうございます。

夢と希望を持ち入学し学んだ二年
間で様々な経験を積み重ね、知識や
創造力、実践力を身につけてきたこ
とでしょう。

皆様は、これから就農、就職、進
学とそれぞれの道に進もうとしてい
ますが、福島県は東日本大震災、原
発事故から八年目を迎えるようとして
います。特に原発事故による帰還困
難区域は未だに手付かずの状態
残っており風評被害も依然として続
いております。

また、地球温暖化による異常気象
で自然災害も多く発生し、特に夏の
水不足等による農作物への影響も出
ています。

このような状況の中、この二年間
で養った経験、共同生活で学んだこ
とを、これからの社会生活に生かし
て欲しいと思います。

新しい生活では、いろいろな困難
が立ちはだかると思いますが、「石
の上にも三年」と言うことわざがあ
りますが、やる気、勇気、これまで
支えてくれた皆様に感謝し、先輩達
の話に耳を傾け、何事も前向きに捉
え、常に向上心を持ち、創意工夫、
改善を忘れずにたくさんの知識を習
得、実行し地域農業を担うバイオニ
アとして今後ますます活躍されるこ
とを心から期待しています。

最後に、これまで我が子の成長
を共に見守り支えていただきました
保護者の皆様、職員の皆様、後援会
活動においてのご指導、ご協力を賜
りましたことを深く感謝申しあげま
す。



はなむけの言葉



校長
飯田 純也

卒業生の皆さん、御卒業おめでと
うございます。

御家族の皆様には、これまで本校
の運営に御理解と御協力をいただき、
心より感謝申し上げます。

本校は、実践的な技術と優れた経
営力を備えた農業者の育成を目指し
て、平成二十九年度に農業経営部と
し、五つの経営学科に再編しました。
皆さんは、この新しい大学校最
初の在校生として、各経営学科にお
ける専門的な学習を中心に広く農業
経営について学び、大いに成長され
たものと思います。

卒業論文の研究では、責任を持っ
て管理した作物の栽培や牛の飼養が
思うように行かなかったこともあり
ました。農業経営の根幹である生産
の大切さと難しさが身に染みたこ
とでしょう。

直売実習では、自分たちが作った
農産物のおいしさを認められ、やり

甲斐を感じたとともに、地域の方々
の応援に感謝したことでしょう。

自分の将来を農業に託そうと学ん
だ二年間。その厳しさや喜びをどれ
だけ実感できたかということが大事
です。

また、始終苦楽を共にした友人と
の交流、全員が力を合わせて成功さ
せた櫻隆祭や東日本農業大学校球技
大会などの思い出は、これからの皆
さんの心の支えとなるに違いありま
せん。

いよいよ平成の時代が終わり、新
たな時代を迎えます。

農業においては、担い手減少への
対応や経営安定のための制度の充実
など様々な面から変革の時期にあり
ます。

本県農業の復興についても、これ
までの取り組みを大きく進展させる
ステージに入るものと感じます。

これからは、皆さんが活躍する時
代です。本県農業の発展に向けて、
それぞれの仕事に全力を尽くされる
ものと期待します。

農業に抱いてきた思いを大切に、
自分の道をひたむきに歩まれること
を願ってやみません。



「笑顔と思いやり、そして努力」

副校長(兼)
農業経営部長 星 源昭

ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、いよいよ社会人としての第一歩を歩み始めることとなりますが、本学での出会いや経験を大切にしてください。また、これまで支えてくださったご家族への感謝も忘れずに。

今、皆さんの前には、無限の未来が広がっています。どんな時にも笑顔と思いやりを忘れず、夢を叶えるためには努力を惜しまず頑張ってください。

皆さんのご活躍と幸せを祈っております。おめでとうございます！

「目標に向かって」

研修部長 宗方 宏之

ご卒業おめでとうございます。皆さん

(3) は二年前、将来の目標を持って入校され、その実現のため学習や実習に日夜取り組んでこられました。常に目標を持ち、その実現に向けて一歩一歩取り組

むこと、それはこれからの皆さんの人生をより一層豊かなものにし、二回りも二回りも大きく成長させることでしよう。「目標に向かって突っ走れ！」

「夢の実現」

水田経営学科長 寺崎 弘之

ご卒業おめでとうございます。四月からは新生活のスタートです。新たな出会いや初めての仕事、見知らぬ土地、社会人としての責任と義務など、大きな期待と共に不安もある時期ではないでしょうか。

皆さんは、二年間という短い期間でしたが、農短大で多くを学び、経験を積んだことで、困難に立ち向かう力も強くなっていることと思います。自信を持って、夢の実現に向かって歩んでください。皆さんの今後の活躍を願っております。

「磨き」

野菜経営学科長 大橋 金光

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新しい門出を心からお祝いいたします。

二年間、農業に関する知識や技術を十分に学ぶことが出来ましたか。それ以上に大切なものを得ることが出来ましたか。その間、ずうっと

後になって懐かしく思うときが必ずやってきます。

これから、社会人としての一歩が始まります。いままで学んだことに加え、今度は人としての自分自身にも磨きをかけてほしいと思います。皆さんが進むそれぞれの道で、活躍している姿を見ることを楽しみにしています。ここで一句、「ながらへばまたこの頃やしのばれむ 憂しと見し世ぞ今は恋しき」

「祝卒業」

果樹経営学科 半谷 広

ご卒業おめでとうございます。晴れて短大を卒業できた裏には、ご家族の深い愛情があったことを忘れずに、新たな一歩を踏み出してください。また、これからは失敗を恐れず、積極果敢に様々なことにチャレンジしてみてください。そこには、これまでにない新しい自分が存在しているはずです。これまで培ってきた知力と体力で、新しい未来を切り開いていってください。卒業生の輝かしい門出を心より祝福するとともに、更なる発展を願っています。

「華」

花き経営学科長 大河内 栄

ご卒業おめでとうございます。農短大に入学した当時の皆さんは

希望に満ちあふれた、まさに花開く前の蕾の様でした。

その後、濃密な二年間の中で多くの事を学び蓄はどんどん成長し、いま大輪の「華」を咲かせようとしています。学生から社会人へ変わる上で大変なことも数多くあると思いますが、どんな時も笑顔を忘れず頑張ってください。農短大で学んだ「栄養」はきつと皆さんの大きな支えになってくれるはずです。そして、社会で大きな華となりその活躍を私たちにを見せて下さい。新社会人 頑張れ！

「挑戦」

畜産経営学科長 佐藤 由美

ご卒業おめでとうございます。この二年間、皆さんは勉強や実習に取組み無事、卒業を迎えることができました。

四月からは社会人として、日々の仕事をこなしていくこととなりますが、今まで経験したことがないことや困難にも直面することが多々あると思います。そのときはどうか逃げず恐れず正面から取り組んでください。たとえ、失敗しても経験として活かされ、やがて大きな実を結ぶものと信じて挑戦して欲しいと思います。

皆さんの今後のご活躍を願っております。

感謝のことは



学生自治会長
阿部 拓海

卒業生の先輩方、御卒業おめでとうございます。先輩方には学校生活・寮生活で大変お世話になりました。また、なにもかもが初めてでもわからない私達に校内球技大会や榊隆祭などの学校行事で学生自治会、寮自治会の先輩方が中心となって私たちをお世話してくださいとも感謝をしています。本当に感謝しています。

私達一年生はたくさん不安を抱えながらこの農業短期大学校に入学してきました。寮生活をする学生が多く不安が多い中での入校となりました。そんな自分たちにやさしく学校生活などについて教えてくださいました。お陰様で私たちはとても楽しく先輩方との素敵な時間を過ごすことができました。

私の中で一番印象に残っていることは榊隆祭です。学生が中心の榊隆祭では先輩方のリーダーシップのす

ごさにとっても驚かされました。そのおかげで私たちは自主的に行動することと、コミュニケーション大切さを学ぶことができました。榊隆祭は見事大成功で終わることができ、先輩方の偉大さとチームワークの良さを知ることができました。

先輩方はこれからとても大変なことをたくさん経験することだと思います。ですが先輩方なら絶対大丈夫です。自信を持って社会に飛び出して行ってください。そして私たちと福島のこれからの農業を一緒に作っていきましょう。

最後になりますが、先輩方と過ごした時間は私たちの宝物です。先輩方の更なる発展と御活躍をお祈り申し上げます。

Thank You!



水田 経営学科

齋藤 敏貴

卒業までの二年間、とても短く感じましたが、たくさん思い出ができました。また、初めての寮生活は、不安に思う事もあったけど楽しかったです。ありがとうございます！

佐々木 一成

二年間という短い間でしたが、いろんな思い出を残すことができました。これからは社会人として気合いを入れて行こうと思います。

佐藤 真希

みなさんお疲れ様でした。二年間という短い間でしたが、いろいろな思い出を残すことができました。卒業してもまた縁があれば、よろしくやってください。

鈴木 雄登

毎日違った感情で、何気ない瞬間で人の感情は変わって月日がたっていくと思う。そのバを大切にしたい。生きるとは、僕は正直に生きたい。

高橋 優也

大学にいった二年間はいろいろな経験が出来、以前より成長できたと思います。もちろん良い意味で。友

大竹 良真

二年間という短い間でしたが、とても楽しい学校生活を送る事ができたと思います。寮生活を通じてたくさんいろいろありましたが、いい経験ができたと思います。

今井 諒佑

二年間という短い間でしたが、いろんな思い出を残すことができました。これからは、社会人としてがんばっていかうと思います。

(5)



情とは一方的な暴力のように熱い想いが大切なのだと思いました。

目黒 智也

二年間で多くの経験が出来ました。「形だけでいいから謝って。」からの「心がこもっていない。」は、まるで一撃必殺のような衝撃がありました。良い二年間になりました。

渡部 大河

ある意味忘れられない二年間でした。ほぼ遊んでいた思い出しかなないので楽しかったんだと思います。

野菜経営学科

荒川 直人

ここで過ごした二年間は、きっと楽しい思い出として墓まで持つていくことでしょう。ここで学んだことを活かして生きていきたいです。

蝦名樹里愛

二年間という短い間でしたが、ありがとうございます。寮生活や野菜のみんなとの楽しい思い出を残すことができました。卒業しても仲良くして下さい。

岡田 拓実

二年間あっという間でしたが忘れられない経験が出来たと思います。私は三年間学びに出るので二年間で得られた経験を活かしたいです。また縁があればどこかで。

小畑 夏輝

二年間、みんなお疲れ様でした。寮生活、実習等の学校生活は、とても濃いものでした。これまで学んだことを、卒業してからも生かし、頑張っていくと思います。

小島 惇弥

短大での生活は本当にあつという間でした。慣れなかった寮生活も楽しくなり、とても良い思い出です。出会った仲間にとっても感謝です。ありがとうございます。

近藤いつき

二年間、楽しすぎてあつという間でした。学生生活も寮生活もとても濃かったです。貴重な二年間を過ごしました。ありがとうございました。

佐藤 淳

二年という短い間ですが、農業の知識と経験を身につけました。仲間との思い出も一生忘れられません。これらの経験を武器に社会人として力強く活躍します。

佐藤 克也

農業について、全くの素人であった私が二年間学んだことは、今後の大きな財産であると思います。また、多くの仲間に出会えた事に感謝しています。ありがとうございます。

鈴木 啓太

二年間があつという間に過ぎていきましたが、実習で学んだこと、寮

生活などとても良い経験ができました。この経験を活かし社会人として頑張ります。

長谷川将大

二年間という短い間でしたが、これから農業を行っていく上で大切なことを学ぶことができましたし、色々楽しい思い出ができました。ありがとうございます。



秦 優姫

いつも四人でぶつかり合ったこと、野菜のみんなでおおきな気づをしたこと、すべてが平成最後だったこと全部が大切な思い出です。ここでブスから普通になりました。

波立 智紀

これまでの二年間は自分自身に何かを気付かせてくれた様な気がします。変な人のままでしたがここですごせてよかったですと思っています。さようなら。

平井 尋生

あつという間に二年間が過ぎていきりましたが、色々な思い出を残すことができました。寮生活を通じて色々な経験もできました。

吉田 睦

二年間ありがとうございます。みんなのおかげで濃い二年間を送ることができました。本当にありがとうございます。

渡部 和樹

二年間ありがとうございます。とても楽しく充実していて飽きる事も無く学べました。とても迷惑をかけましたが、二年間クソお世話になりました！

果樹経営学科



安積 菜里

二年間お世話様でした。友達といろんな思い出をつくることができました。社会人頑張りたい！！

遠藤 耀平

二年間、長かったようであつという間に過ぎていました。めちゃくちゃ楽しい時間をありがとうございました。またどこかで会ってそのまま飲みに行こうや。

佐々木 誠

二年間という長いようで短い間でしたが、最高の仲間と最高の先生方に出会えて、本当に充実した二年間でした。縁があつたらまたどこかで会いましょう。さようなら！！

鈴木 大空

二年間という短い間でしたが、いろいろな経験ができました。寮生活はすごく良い経験になりました。

根本 恵

二年間という短い時間は、アクセル全開で空回りやキズつくことがあつたりしたけど、楽しいという言葉が当てはまるぐらいイイことも沢山あつた時間だった。ありがとうございます。

藤縄 成海

二年間短い間でしたが楽しかったです。ありがとうございます。これから仕事頑張ります。

花き経営学科



金山 希

二年間は長いようで短いあつという間の時間でした。楽しいこともつらいことも、同じ科の仲間と一緒にすごしたことは、一生の思い出です。

鹿戸 拓海

皆さん、二年間本当にお世話になりました。もう卒業を迎えてしまう

のがとても早いですね。ここで学んだことをいかしていきたいと思います！またどこかで会いましょう！バイバイ

嶋原 捷

二年間とは意外と早いものでここでの生活がつい最近のことのように感じられます。縁があれば、またそちらへお邪魔させていただきます。

橋元 佑果

二年間、長いと思いましたがとても短く刺激的な大学生活でした。楽しい友達も沢山できて毎日ですごく色鮮やかでした。卒業してもずっと忘れません。

皆川 千尋

あっという間に卒業で、濃い二年間を過ごすことが出来ました。一緒に遊んだ友達、花き経営学科のみなさん、ありがとうございました。

畜産経営学科

板橋 衛

(7) 二年間という短い間でしたが、みんなと実習や行事、寮生活など全部楽しかったです。卒業してもまた縁

があればよろしく！

伊東 勇貴

二年間という短い月日でしたが、楽しい学生生活になりました。これから頑張つて生きていきます。学科長ありがとうございます。お幸せに。

遠藤 美華

あっという間の二年間で、毎日がとても楽しかったです。特に寮生活では沢山の思い出を作ることができ、とても良い経験になりました。ありがとうございました！

影山 涉

二年間という短い間でしたがとても楽しく、たくさん思い出を作ることができました。みんな、ありがとう！

川口 貴晶

二年間、短い期間でしたがいろいろな思い出を残すことができ、楽しく過ごすことができました。

小柴 大地

短くもとても楽しい二年間でした。いろいろな出会いと経験があり、毎日とても楽しく過ごすことができました

した。忘れられない思い出をありがとうございました。

神枝 青馬

二年間、楽しかった。みんなで毎日実習したり遊んだり幸せな二年間でした。お世話してくれた人達ありがとうございます！！

関根 祥平

二年間、とても短いものでした。北三階のメンバーのおかげで、寮生活もとてもたのしいものになりました。

戸上 拓人

二年間ってあっという間でした。色んなことがありましたが、確実なのは、短大に来たのは間違いいはなかったということです。

松浦有里子

二年間、あっという間でした。楽しい事も楽しくない事もギュッとつまった濃い日々を過ごせました。寮の設備をどうにかした方がよろしいと思います。寒かった。

丸森 優

二年間という短い間でしたが、意

外と短かったです。あっという間に過ぎていきましたが、かなり濃い二年間でいた。ありがとうございました。

渡邊 碧

二年間という短い期間、いろいろと楽しかったです。この学校で学んだことを生かしていきたいと思いま



入賞者

●東日本農業大学校等球技大会

第三位 野球(男子)
第二位 バレーボール(女子)



●第五回女子学生懸賞作文

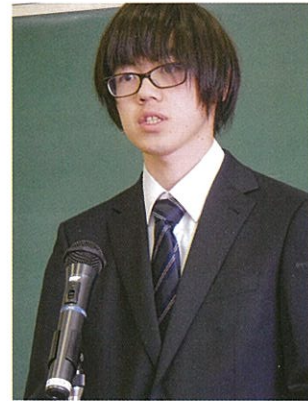
(一般社団法人福島県女性経営者プラザ主催)

奨励賞 畜産経営学科二年
松浦有里子
「愛ある農業者へ」



●校内意見発表会

最優秀 花き経営学科一年
小板橋優也



「農業と触れ合う中で生まれた感謝の気持ち」
優秀一席 野菜経営学科一年
佐藤舞

「農業ってダサくない?」
優秀二席 畜産経営学科一年
大塚千春

「私の目指す牧場経営」

●校内卒業論文発表会



最優秀 野菜経営学科二年
佐藤克也

「ブロッコリー定植後の活着促進方法とスーパースセル苗化による定植期分散の検討」
優秀一席 花き経営学科二年
皆川千尋

「宿根カスミソウ・アルタイルMDの電照栽培による六月上旬の出荷について」
優秀二席 果樹経営学科二年
遠藤耀平

「ブドウピオーネの果房整形の違いが果実品質や消費需要に及ぼす影響」

●東日本農業大学校等プロジェクト発表会

平成三十一年一月十六日・十七日に青森県原燃テクノロジーズセンターにおいて、東日本農業大学校等プロジェクト・意見発表会が開催されました。本校からは校内発表会において優秀以上の学生が参加しました。



優秀 野菜経営学科二年
佐藤克也(全国出場)

●福島県農村青年会議プロジェクト・意見発表

最優秀賞 果樹経営学科二年
遠藤耀平

「ブドウピオーネの房づくりの違いが果実品質や省力化に及ぼす影響」
優秀賞 花き経営学科二年
皆川千尋

「宿根カスミソウ・アルタイルMDの電照栽培による六月上旬の出荷について」
優秀賞 畜産経営学科一年
大塚千春

「私の目指す牧場経営」

●JGAP2016認証

初回認証日 二〇一八年五月七日
認証農産物 青果物、穀物
品目名 トマト、ブドウ、米(粳・玄米)
※ブドウは二〇一八年十二月二十五日に認証



アグリカレッジ福島
福島県農業総合センター
農業短期大学校

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1
TEL:0248-42-4113(教務管理)
E-mail:nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

アグリカレッジ福島 検索

